

木質バイオマス使用設備導入の 取り組みについて

次代を担う子どもたちが、環境や資源、エネルギーについての正しい理解を深め、自ら考えて行動できる事は極めて重要です。

学校施設は、子どもたちが一日の大半を過ごす学習や生活の場です。校舎や施設の各部について環境を考慮した施設づくりを行うことは、子どもたちの環境問題に対する興味・関心を喚起し、生きた教材として体験的な環境教育に活用できるなど、環境保全の意欲の増進のための取り組みとして重要です。

学校施設整備においては、環境負荷の低減や自然との共生に対応した整備を行うこととし、老朽化した暖房設備のボイラー更新にあたって、木質バイオマス燃料のペレットボイラーを導入したものです。

導入のねらい

- ・ 老朽化した暖房設備のボイラー更新にあたって、燃料に木質バイオマスである「木質ペレット」を使用し、二酸化炭素の削減など環境への配慮をすると共に子どもたちへの生きた教材とする。
- ・ 地産地消の一環となる間伐材などのペレット燃料化の推進を目指す。
- ・ 来校する関係者を通じて、「木質ペレット」の一般家庭への普及啓発を行い、市民のバイオマス燃料利活用の理解と意識の醸成を図る。

導入施設

【24年度】

学校名	大館市立東館小学校
住 所	大館市比内町独鈷字独鈷90番地1
設 備	ペレットボイラー 1基 能力 35万Kwh 暖房対象床面積 2,252㎡ 年間ペレット消費見込 52.2t

【25年度】

学校名	大館市立西館小学校
住 所	大館市比内町笹館字前田野77番地
設 備	ペレットボイラー 1基 能力 40万Kwh 暖房対象床面積 2,680㎡ 年間ペレット消費見込 71.4t



ペレットの使用状況

単位:t

年度	使用月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H24	使用量	0.00	15.60	11.35	9.10	10.94	11.05	58.04
H25		10.40	13.00	23.40	17.20	20.15	17.70	101.85

導入の状況

【東館小学校】



・ペレット貯蔵施設(燃料タンク)



・ペレットボイラー本体(正面)



・運転制御設定盤

【西館小学校】



・ペレット貯蔵施設(燃料タンク)



・ペレットボイラー本体(正面)



・ボイラー周辺配管設備

※参考

ペレットボイラーの他に、ペレットストーブも特別教室等に導入しています。

(平成26年4月 現在) 小学校2校(4台) 中学校4校(17台) 合計 21台